



放虎原小だより

令和7年2月10日
No.18
文責 校長 福永琢也

おもいやり ゆめ げんき

☆学校の引っ越し、初めての経験です。

前号でお知らせしたとおり、2月の15、16日で工事の終わった校舎に仮設校舎から一斉に引っ越しを行います。それに向けて先週より校長室も荷造りをしています。荷造りをしながら、校長室にある様々な「書類・帳簿」の多さに改めて驚いています。また段ボールを組み立て、それを詰めるとなるとなかなかの作業量です。校長室だけでも結構な量となりました。分かってはいたのですが、職員室、特別教室、各教室、机・椅子と学校の引っ越しの規模の大きさを感じています。今までの人生で10回以上の引っ越しを経験していますが、比較のしようがない規模です。新しい校舎を楽しみにして、作業を頑張っています。

☆もうすぐ入学

2月6日に次年度の入学説明会を実施しました。当日は、かなりの寒波の予報が出ていましたので、当初予定していた体育館から、1年生教室に会場を変更し、リモートで実施しました。はじめの挨拶の中でも触れたのですが、「子どもたちの希望を大切に育てていく」「園とも連携し、子どもたちの育ちをつないでいく」このことを教職員一同肝に銘じ、次年度に向かっていきたいと考えています。あと2ヶ月あまりとなった入学式、新入生の子どもたち同様、在校生・我々も楽しみにしています。次年度の新入生は、120名前後の予定です。



☆こちらもうすぐ入学

2月7日に保育園生との交流を行いました。来校いただいた園は、「放虎原こども園」「桜馬場保育園」「このみ保育園」です。今回の交流は、2つの形で実施しました。1つ目は、1年生との交流です。入学する小学校の生活などを紹介することで、入学間近の保育園生の不安を軽減し、小学校進学の見通しをもたせます。各学級ごとに学校での生活の様子やランドセル・椅子机体験など楽しく紹介をしていました。1年生の子どもたちも保育園生と交流することで、一つ成長した気持ちをその姿から見る事ができました。2つ目が、5年生との交流です。ペアをつくり、学校内を手を引きながら紹介をしました。「いろいろなものがある」と興味津々な眼差しが印象的でした。5年生も「お世話をする楽しさ」「教える楽しさ」を感じ、次年度への心構えができました。入学説明会で触れた、「子どもたちの育ちをつなぐ」ことの一つです。

